

9、防水工事

1

アスファルト防水

種別

施工箇所

種別

施工箇所

・A-1

・A1-1

・B-1

・B1-1

・D-1

・D1-1

・E-1

屋内(便所・浴室)

アスファルトの種類 JIS K2207のJIS表示認証製品 3種
・押さえ金物 (・アルミ製 1-30×15×2.0)
・断熱材 ・A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種b(スキンあり)
・脱気装置 (種類・数量: アスファルトルーフィング類製造所の指定とする)
・溶接金網 (規格)
・伸縮調整目地 (・成形伸縮目地) (表9.2.1)

2

改質アスファルトシート防水

種別

施工箇所

シートの厚さ

・AS-T

・AS-J

・AS1-T

・AS1-J

改質アスファルトシートの種類 JIS A6013のJIS表示認証製品
・押さえ金物 (材質及び形状:)
・断熱材 ・A種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号又は2号(透湿係数を除く規格に適合するもの)
・脱気装置 (種類・数量: 改質アスファルトシート製造所の指定とする)

3

合成高分子系ルーフィングシート防水

種別

厚さ(mm)

施工箇所

保護塗料(露出)

・S-F1

・1.2

・カラー

・シルバー

・S-F2

・2.0

・S-M1

・1.5

・カラー

・シルバー

・S-M2

・1.5

・S-M3

・1.2

ルーフィングシートの種類 JIS A6008のJIS表示認証製品
・脱気装置 (材質: 数量:)
・絶縁シート (・発泡ポリエチレンシート)
・その他の材料 ()

4

塗膜防水

種別

施工箇所

保護塗料(露出)

・ウレタン

・X-1

バルコニー

・カラー

・シルバー

・ゴム系

・X-2

ひさし

・カラー

・シルバー

・ゴムアス

・Y-1

地下外壁

・ファルト系

・Y-2

室内(便所・浴室)

・脱気装置 (材質: ステンレス製又はアルミ製)
(設置数量: 箇所)

5

ケイ酸質系塗布防水

種別

施工箇所

・C-U1

・C-U2

※被着体との組み合わせは (表9.7.1) による。

6

シーリング

・アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡し日より10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。
・塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。

10、石工事

1

石材

石材の種類

品質

施工箇所

工法

産地・名称

仕上の種類

磨き

外部架石

2

清掃

・床のワックスかけ ・行う ・行わない (10.1.5)

11、タイル工事

1

陶磁器質タイルの品質

JIS A 5209のJIS表示認証製品

施工箇所

形状寸法(mm)

うわ薬

役物

色

無釉

施釉

あり

なし

標準

注文

・スロープ・テラス

・タイルの見本焼き ※行わない ・行う
・タイルの試験張り ※行わない ・行う

2

タイル下地コンクリート

あと張り工法の下地コンクリート素地面の処理 (11.2.7) (11.3.7)
・行わない
・行う (下記のいずれかとする)
素地表面処理の工法 下地モルタル 適用箇所
MCR工法 (15.2.5(c)) による
MCR工法 ポリマーセメントモルタル
目荒し工法 (高圧水洗) (15.2.5(c)) による スロープ・テラス
目荒し工法 (高圧水洗) ポリマーセメントモルタル
MCR工法はせき板面にMCR工法用シート張りとし (6.8.3(e)) による。
目荒し工法の高圧水洗は (15.2.4(c)) による。
ポリマーセメントモルタルの調合は (15.2.3(d)) による。

3

セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り

内装タイルの工法 (11.2.7) (表11.2.3)
・改良積上げ張り 施工箇所 ()
外装タイルの工法 ()
・密着張り 施工箇所 ()
・改良圧着張り 施工箇所 ()
ユニットタイルの工法 ()
・マスク張り

4

接着剤による陶磁器質タイル張り

内装タイルの工法 (11.3.7) (表11.3.2)
・接着剤張り 施工箇所 ()
接着剤はJIS A 5548のJIS表示認証製品 (11.3.3)
・ (表11.1.1)による (11.1.3)
・図示 (11.1.5)

5

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

・ (表11.1.2)による

6

接着力試験

12、木工工事

1

木材

○表面仕上げの程度 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 (12.1.4) (表12.1.1)
○含水率 下地材 ※A種 ・B種 (12.2.1) (表12.2.1)
造作材 ※A種 ・B種
・造作材の材面の品質 ※A種 ・B種 (12.2.1) (表12.2.2)
・代用樹種を使用しない箇所 ※なし ・あり ()

2

造作用集成材

・造作用集成材12.2.1.(c)による (12.2.1)
見付け材面等級 JASによる集成材 その他
・ ※1等 ・2等 ※JAS集成材1等同等
単材の樹種
単材の厚さ(mm) 10~15 10~15

3

床張り用合板等

・床下貼り用合板 (12.2.1)
※JASの構造用合板 特種 2等以上 C-D以上)
・ ()

4

防腐・防蟻・防虫処理

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 (12.3.1)
適用部位 ()
保存処理性能区分 ・K2 ・K3 ・K4
薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理を行う。 (12.3.2)
・防虫処理
ラワン材 保存処理性能区分 ・K1

13、屋根及びとい工事

1

長尺金属板葺

材種

規格

厚さ(mm)

屋根葺形式

備考

・カラー亜鉛鉄板

JIS G 3312

・0.4

※瓦葺葺(心木なし)

・片面塗装

・

AL55%

・ガルバリウム鋼板

JIS G 3321

※0.4

・

AL55%

(※無塗装)

・

※カラーガルバリウム鋼板

JIS G 3322

※0.4

・

(※カラー)

・

※監督員の承諾する業者とする。
(JIS A 6514のJIS表示認証製品 (13.3.2)
・材種 規格 厚さ 山高 断熱材(mm) 耐火性能
・カラー亜鉛鉄板 JIS G 3312 ・0.8 ・150 ・有 () ・有 (30分耐火)
・片面塗装 (屋根用規格品)
・カラーガルバリウム鋼板 JIS G 3322 ・66 ・無
・ガルバリウム鋼板 (屋根用規格品)
・ポリ塩化ビニル被覆 JIS K 6744
・ (SGのA種規格品)
・

2

折板葺

○この材質 (13.5.2) (13.5.3) (表13.5.1) (表13.5.3) (表13.5.4)
材種 防露
・配管用鋼管 (SGP) ※ (表13.5.4) により行う ・行わない
○硬質塩化ビニル管 (V.P)
・鋼管製といの防露巻き工法 (表13.5.5)による
・樋受石 (材質・規格)
※第一樹まで接続
・ルーフトレン (表13.5.2)
・鋳鉄製 ・縦型
・模型

3

粘土瓦葺

JIS A 5208の表示認証製品 (13.4.2)
種類 大きさ 産地 役物瓦の種類 耐凍害性資料
・ 提出する ※提出しない

4

とい

○この材質 (13.5.2) (13.5.3) (表13.5.1) (表13.5.3) (表13.5.4)
材種 防露
・配管用鋼管 (SGP) ※ (表13.5.4) により行う ・行わない
○硬質塩化ビニル管 (V.P)
・鋼管製といの防露巻き工法 (表13.5.5)による
・樋受石 (材質・規格)
※第一樹まで接続
・ルーフトレン (表13.5.2)
・鋳鉄製 ・縦型
・模型

5

ルーフトレン

・ルーフトレン (表13.5.2)
・鋳鉄製 ・縦型
・模型

15、左官工事

1

モルタル塗り

・既製目地材 ・設ける (施工箇所: 形状: 図示による) (15.2.2)
・設けない
・床目地 ・設ける (押し目地工法) (15.2.5)
・設けない
・種別 ・石こう系 (15.4.2) (表15.4.1)
・セメント系
・10mm
・塗厚

2

セルフレベリング材

・種別 (15.4.2) (表15.4.1)
・塗厚

3

仕上げ塗材仕上げ

規格名称

種類(呼び名)

仕上の形状

工法

上塗り材

・薄付け

・外装薄塗材E

・砂壁状

・吹付け

仕上げ塗材

・内装薄塗材C

・砂壁状

・ローラー

・可とう形外装薄塗材E

・砂壁状

・じゅらく

・薄塗材E

・ゆず肌

・厚付け

・外装厚塗材C

・吹付け

※吹付け

・こて

・内装厚塗材C

・ローラー

・外装厚塗材E

・こて

・

・複層仕上塗材

・複層塗材CE

・ゆず肌

・吹付け

・複層塗材E

・凸凹処理

・ローラー

・複層塗材RS

・凸凹模様

・複層塗材RE

・防水形

・複層塗材Si

・防水形

・複層塗材E

・防水形

・複層塗材RS

・軽量骨材 仕上塗材 ・吹付け用軽量塗材 ・砂壁状 ・吹付け
・こて塗用 軽量塗材 ・平たん状 ・こて塗り

4

ロックウール吹付け(耐火被覆は、7章による)

・複装仕上塗材の耐候性 1種 2種 3種 mm 図示による (15.8.3)
・吹付け厚さ (mm)

16、建具工事

1

一般事項

※防火戸の指定 ※適用しない (16.1.3)
・適用する (適用範囲は図示及び建具表による)
※建築基準法第2条第九号の二のの規定に定められたもの又は認定を受けたもの(監督員の承認を受ける。)
※防火戸との連動 (16.1.3)
※適用しない
・適用する (適用箇所は建具表及び図示による) (・自動閉鎖機構 ・ヒューズ装置 ・熱感知器)
○外部に面する建具性能等級等 (16.2.2) (16.2.4) (表16.2.1) (表14.2.1)
種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm)
・A種 S-4 A-3 W-4 70 (引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時で性能が確保できない場合は、100)
・B種 S-5
・C種 S-6 A-4 W-5 100
※適用箇所は図示による
表面処理 外部に面する建具 ※B-1種 ・B-2種
内部建具 ※C-1種 ・C-2種
※B-2種、C-2種の場合 ・ブロンズカラー (※標準色 ・濃色)
・ステンカラー
※防音ドアセット、防音サッシ ・適用する (適用範囲は図示による)
※適用する場合の遮音性の等級 ・T-1 ・T-2 ・T-3
断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する (適用範囲は図示による)
※適用する場合の断熱性の等級 ・H-2 ・H-3
耐震ドアセット、耐震サッシ ・適用する (適用範囲は図示による)
※適用する場合の面内変形 ・D-1 ・D-2
○使用法による区分 ※外面納まりの可動式 (16.2.3)
・内部納まりの開き式
○防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ)
・ガラス繊維入り合成樹脂
○ステンレス(SUS 316)
・合成樹脂
・防鳥網
・ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm
・簡易気密型ドアセット (16.4.2) (16.4.4) (表16.4.1) (表16.4.2)
・使用する (適用箇所は図示とする)
気密性 ・A-3
水密性 ・W-1
・使用しない
・外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 (16.4.3~4)
・鋼板 ※溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
・溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
・建具寸法が(16.4.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ
区分 使用箇所 厚さ(mm)
窓 枠類 枠、方立、無目 (表16.4.2)に同じ
出入口 枠類 一般部分 2.3
戸 中骨 2.3
上記以外 (表16.4.2)に同じ (16.4.6)
・標準型鋼製建具 ※使用する (16.4.6)
・使用しない
・簡易気密型ドアセット (16.5.2~4) (表16.5.1)
・使用する (適用箇所は図示による)
気密性 ・A-3
・使用しない
・戸の鋼板 ※表面処理亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・標準型鋼製軽量建具 ※使用する (16.5.6)
・使用しない
・標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※鋼製
・アルミ製

2

アルミニウム建具

○外部に面する建具性能等級等 (16.2.2) (16.2.4) (表16.2.1) (表14.2.1)
種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm)
・A種 S-4 A-3 W-4 70 (引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時で性能が確保できない場合は、100)
・B種 S-5
・C種 S-6 A-4 W-5 100
※適用箇所は図示による
表面処理 外部に面する建具 ※B-1種 ・B-2種
内部建具 ※C-1種 ・C-2種
※B-2種、C-2種の場合 ・ブロンズカラー (※標準色 ・濃色)
・ステンカラー
※防音ドアセット、防音サッシ ・適用する (適用範囲は図示による)
※適用する場合の遮音性の等級 ・T-1 ・T-2 ・T-3
断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する (適用範囲は図示による)
※適用する場合の断熱性の等級 ・H-2 ・H-3
耐震ドアセット、耐震サッシ ・適用する (適用範囲は図示による)
※適用する場合の面内変形 ・D-1 ・D-2
○使用法による区分 ※外面納まりの可動式 (16.2.3)
・内部納まりの開き式
○防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ)
・ガラス繊維入り合成樹脂
○ステンレス(SUS 316)
・合成樹脂
・防鳥網
・ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm
・簡易気密型ドアセット (16.4.2) (16.4.4) (表16.4.1) (表16.4.2)
・使用する (適用箇所は図示とする)
気密性 ・A-3
水密性 ・W-1
・使用しない
・外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 (16.4.3~4)
・鋼板 ※溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
・溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
・建具寸法が(16.4.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ
区分 使用箇所 厚さ(mm)
窓 枠類 枠、方立、無目 (表16.4.2)に同じ
出入口 枠類 一般部分 2.3
戸 中骨 2.3
上記以外 (表16.4.2)に同じ (16.4.6)
・標準型鋼製建具 ※使用する (16.4.6)
・使用しない
・簡易気密型ドアセット (16.5.2~4) (表16.5.1)
・使用する (適用箇所は図示による)
気密性 ・A-3
・使用しない
・戸の鋼板 ※表面処理亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・標準型鋼製軽量建具 ※使用する (16.5.6)
・使用しない
・標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※鋼製
・アルミ製

3

網戸

○使用法による区分 ※外面納まりの可動式 (16.2.3)
・内部納まりの開き式
○防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ)
・ガラス繊維入り合成樹脂
○ステンレス(SUS 316)
・合成樹脂
・防鳥網
・ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm
・簡易気密型ドアセット (16.4.2) (16.4.4) (表16.4.1) (表16.4.2)
・使用する (適用箇所は図示とする)
気密性 ・A-3
水密性 ・W-1
・使用しない
・外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 (16.4.3~4)
・鋼板 ※溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
・溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
・建具寸法が(16.4.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ
区分 使用箇所 厚さ(mm)
窓 枠類 枠、方立、無目 (表16.4.2)に同じ
出入口 枠類 一般部分 2.3
戸 中骨 2.3
上記以外 (表16.4.2)に同じ (16.4.6)
・標準型鋼製建具 ※使用する (16.4.6)
・使用しない
・簡易気密型ドアセット (16.5.2~4) (表16.5.1)
・使用する (適用箇所は図示による)
気密性 ・A-3
・使用しない
・戸の鋼板 ※表面処理亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・標準型鋼製軽量建具 ※使用する (16.5.6)
・使用しない
・標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※鋼製
・アルミ製

5

鋼製建具

○使用法による区分 ※外面納まりの可動式 (16.2.3)
・内部納まりの開き式
○防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ)
・ガラス繊維入り合成樹脂
○ステンレス(SUS 316)
・合成樹脂
・防鳥網
・ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm
・簡易気密型ドアセット (16.4.2) (16.4.4) (表16.4.1) (表16.4.2)
・使用する (適用箇所は図示とする)
気密性 ・A-3
水密性 ・W-1
・使用しない
・外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 (16.4.3~4)
・鋼板 ※溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
・溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
・建具寸法が(16.4.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ
区分 使用箇所 厚さ(mm)
窓 枠類 枠、方立、無目 (表16.4.2)に同じ
出入口 枠類 一般部分 2.3
戸 中骨 2.3
上記以外 (表16.4.2)に同じ (16.4.6)
・標準型鋼製建具 ※使用する (16.4.6)
・使用しない
・簡易気密型ドアセット (16.5.2~4) (表16.5.1)
・使用する (適用箇所は図示による)
気密性 ・A-3
・使用しない
・戸の鋼板 ※表面処理亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・標準型鋼製軽量建具 ※使用する (16.5.6)
・使用しない
・標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※鋼製
・アルミ製

6

鋼製軽量建具

○使用法による区分 ※外面納まりの可動式 (16.2.3)
・内部納まりの開き式
○防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ)
・ガラス繊維入り合成樹脂
○ステンレス(SUS 316)
・合成樹脂
・防鳥網
・ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm
・簡易気密型ドアセット (16.4.2) (16.4.4) (表16.4.1) (表16.4.2)
・使用する (適用箇所は図示とする)
気密性 ・A-3
水密性 ・W-1
・使用しない
・外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 (16.4.3~4)
・鋼板 ※溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
・溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
・建具寸法が(16.4.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ
区分 使用箇所 厚さ(mm)
窓 枠類 枠、方立、無目 (表16.4.2)に同じ
出入口 枠類 一般部分 2.3
戸 中骨 2.3
上記以外 (表16.4.2)に同じ (16.4.6)
・標準型鋼製建具 ※使用する (16.4.6)
・使用しない
・簡易気密型ドアセット (16.5.2~4) (表16.5.1)
・使用する (適用箇所は図示による)
気密性 ・A-3
・使用しない
・戸の鋼板 ※表面処理亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・標準型鋼製軽量建具 ※使用する (16.5.6)
・使用しない
・標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※鋼製
・アルミ製

7

ステンレス製建具

○使用法による区分 ※外面納まりの可動式 (16.2.3)
・内部納まりの開き式
○防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ)
・ガラス繊維入り合成樹脂
○ステンレス(SUS 316)
・合成樹脂
・防鳥網
・ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm
・簡易気密型ドアセット (16.4.2) (16.4.4) (表16.4.1) (表16.4.2)
・使用する (適用箇所は図示とする)
気密性 ・A-3
水密性 ・W-1
・使用しない
・外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 (16.4.3~4)
・鋼板 ※溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
・溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
・建具寸法が(16.4.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ
区分 使用箇所 厚さ(mm)
窓 枠類 枠、方立、無目 (表16.4.2)に同じ
出入口 枠類 一般部分 2.3
戸 中骨 2.3
上記以外 (表16.4.2)に同じ (16.4.6)
・標準型鋼製建具 ※使用する (16.4.6)
・使用しない
・簡易気密型ドアセット (16.5.2~4) (表16.5.1)
・使用する (適用箇所は図示による)
気密性 ・A-3
・使用しない
・戸の鋼板 ※表面処理亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・標準型鋼製軽量建具 ※使用する (16.5.6)
・使用しない
・標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※鋼製
・アルミ製

8

木製建具

○使用法による区分 ※外面納まりの可動式 (16.2.3)
・内部納まりの開き式
○防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ)
・ガラス繊維入り合成樹脂
○ステンレス(SUS 316)
・合成樹脂
・防鳥網
・ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm
・簡易気密型ドアセット (16.4.2) (16.4.4) (表16.4.1) (表16.4.2)
・使用する (適用箇所は図示とする)
気密性 ・A-3
水密性 ・W-1
・使用しない
・外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 (16.4.3~4)
・鋼板 ※溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
・溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
・建具寸法が(16.4.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ
区分 使用箇所 厚さ(mm)
窓 枠類 枠、方立、無目 (表16.4.2)に同じ
出入口 枠類 一般部分 2.3
戸 中骨 2.3
上記以外 (表16.4.2)に同じ (16.4.6)
・標準型鋼製建具 ※使用する (16.4.6)
・使用しない
・簡易気密型ドアセット (16.5.2~4) (表16.5.1)
・使用する (適用箇所は図示による)
気密性 ・A-3
・使用しない
・戸の鋼板 ※表面処理亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・標準型鋼製軽量建具 ※使用する (16.5.6)
・使用しない
・標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※鋼製
・アルミ製

9

建具用金物

○使用法による区分 ※外面納まりの可動式 (16.2.3)
・内部納まりの開き式
○防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ)
・ガラス繊維入り合成樹脂
○ステンレス(SUS 316)
・合成樹脂
・防鳥網
・ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm
・簡易気密型ドアセット (16.4.2) (16.4.4) (表16.4.1) (表16.4.2)
・使用する (適用箇所は図示とする)
気密性 ・A-3
水密性 ・W-1
・使用しない
・外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 (16.4.3~4)
・鋼板 ※溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
・溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
・建具寸法が(16.4.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ
区分 使用箇所 厚さ(mm)
窓 枠類 枠、方立、無目 (表16.4.2)に同じ
出入口 枠類 一般部分 2.3
戸 中骨 2.3
上記以外 (表16.4.2)に同じ (16.4.6)
・標準型鋼製建具 ※使用する (16.4.6)
・使用しない
・簡易気密型ドアセット (16.5.2~4) (表16.5.1)
・使用する (適用箇所は図示による)
気密性 ・A-3
・使用しない
・戸の鋼板 ※表面処理亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・標準型鋼製軽量建具 ※使用する (16.5.6)
・使用しない
・標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※鋼製
・アルミ製

10

自動ドア開閉装置

○使用法による区分 ※外面納まりの可動式 (16.2.3)
・内部納まりの開き式
○防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ)
・ガラス繊維入り合成樹脂
○ステンレス(SUS 316)
・合成樹脂
・防鳥網
・ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm
・簡易気密型ドアセット (16.4.2) (16.4.4) (表16.4.1) (表16.4.2)
・使用する (適用箇所は図示とする)
気密性 ・A-3
水密性 ・W-1
・使用しない
・外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 (16.4.3~4)
・鋼板 ※溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
・溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
・建具寸法が(16.4.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ
区分 使用箇所 厚さ(mm)
窓 枠類 枠、方立、無目 (表16.4.2)に同じ
出入口 枠類 一般部分 2.3
戸 中骨 2.3
上記以外 (表16.4.2)に同じ (16.4.6)
・標準型鋼製建具 ※使用する (16.4.6)
・使用しない
・簡易気密型ドアセット (16.5.2~4) (表16.5.1)
・使用する (適用箇所は図示による)
気密性 ・A-3
・使用しない
・戸の鋼板 ※表面処理亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・標準型鋼製軽量建具 ※使用する (16.5.6)
・使用しない
・標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※鋼製
・アルミ製

11

重量シャッター

○使用法による区分 ※外面納まりの可動式 (16.2.3)
・内部納まりの開き式
○防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ)
・ガラス繊維入り合成樹脂
○ステンレス(SUS 316)
・合成樹脂
・防鳥網
・ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm
・簡易気密型ドアセット (16.4.2) (16.4.4) (表16.4.1) (表16.4.2)
・使用する (適用箇所は図示とする)
気密性 ・A-3
水密性 ・W-1
・使用しない
・外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 (16.4.3~4)
・鋼板 ※溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
・溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
・建具寸法が(16.4.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ
区分 使用箇所 厚さ(mm)
窓 枠類 枠、方立、無目 (表16.4.2)に同じ
出入口 枠類 一般部分 2.3
戸 中骨 2.3
上記以外 (表16.4.2)に同じ (16.4.6)
・標準型鋼製建具 ※使用する (16.4.6)
・使用しない
・簡易気密型ドアセット (16.5.2~4) (表16.5.1)
・使用する (適用箇所は図示による)
気密性 ・A-3
・使用しない
・戸の鋼板 ※表面処理亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・標準型鋼製軽量建具 ※使用する (16.5.6)
・使用しない
・標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※鋼製
・アルミ製

12

軽量シャッター

○使用法による区分 ※外面納まりの可動式 (16.2.3)
・内部納まりの開き式
○防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ)
・ガラス繊維入り合成樹脂
○ステンレス(SUS 316)
・合成樹脂
・防鳥網
・ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm
・簡易気密型ドアセット (16.4.2) (16.4.4) (表16.4.1) (表16.4.2)
・使用する (適用箇所は図示とする)
気密性 ・A-3
水密性 ・W-1
・使用しない
・外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 (16.4.3~4)
・鋼板 ※溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
・溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
・建具寸法が(16.4.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ
区分 使用箇所 厚さ(mm)
窓 枠類 枠、方立、無目 (表16.4.2)に同じ
出入口 枠類 一般部分 2.3
戸 中骨 2.3
上記以外 (表16.4.2)に同じ (16.4.6)
・標準型鋼製建具 ※使用する (16.4.6)
・使用しない
・簡易気密型ドアセット (16.5.2~4) (表16.5.1)
・使用する (適用箇所は図示による)
気密性 ・A-3
・使用しない
・戸の鋼板 ※表面処理亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・標準型鋼製軽量建具 ※使用する (16.5.6)
・使用しない
・標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※鋼製
・アルミ製

13

オーバーヘッドドア

○使用法による区分 ※外面納まりの可動式 (16.2.3)
・内部納まりの開き式
○防虫網 (線径0.25mm 網目16-18メッシュ)
・ガラス繊維入り合成樹脂
○ステンレス(SUS 316)
・合成樹脂
・防鳥網
・ステンレス (SUS304) 線径1.5mm ピッチ15mm
・簡易気密型ドアセット (16.4.2) (16.4.4) (表16.4.1) (表16.4.2)
・使用する (適用箇所は図示とする)
気密性 ・A-3
水密性 ・W-1
・使用しない
・外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 (16.4.3~4)
・鋼板 ※溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
・溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)
・建具寸法が(16.4.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ
区分 使用箇所 厚さ(mm)
窓 枠類 枠、方立、無目 (表16.4.2)に同じ
出入口 枠類 一般部分 2.3
戸 中骨 2.3
上記以外 (表16.4.2)に同じ (16.4.6)
・標準型鋼製建具 ※使用する (16.4.6)
・使用しない
・簡易気密型ドアセット (16.5.2~4) (表16.5.1)
・使用する (適用箇所は図示による)
気密性 ・A-3
・使用しない
・戸の鋼板 ※表面処理亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・標準型鋼製軽量建具 ※使用する (16.5.6)
・使用しない
・標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり ※鋼製
・アルミ製

14

ガラス

○使用法による区分 ※外面納まりの可動式 (16.2.3)
・内部納まりの開き式
○防虫網 (線径0.25mm 網目16-18